

助産雑誌 Back Number

★バックナンバーのお取り扱いについて

- ① 2017年4月号以降の雑誌は、医学書院受注センター(TEL: 03-3817-5666)にて承ります。
- ② それ以前の号についてのご注文や在庫のご照会などは、下記へお願いいたします。
株式会社東亜ブック 〒178-0061 東京都練馬区大泉学園町 5-27-11
TEL: 03-5947-4781 FAX: 03-3923-4539



2019年3月号

特集
お悩み解決！
指導者のための実習指導方法
助産学実習生に対する指導に焦点を当て、各施設での具体的な指導方法、フォローの仕方などを紹介します。多くの実習生を指導する工夫や、教育機関(大学)と臨床現場との連携のほか、若手助産師・学生への実習に関するアンケートも掲載しました。



2019年2月号

特集
最新！妊婦への栄養指導

妊婦のやせ志向・栄養不足による児への影響が近年問題視され、これらの解決には栄養指導が重要です。低栄養や栄養に偏りのある妊婦のリスク、推奨増加体重の考え方、栄養指導の実践報告、そして栄養素に関するよくある質問をまとめました。



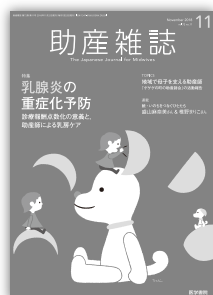
2019年1月号

特集
分娩を遅延させないために助産師ができること
正常に進むと思っていた分娩が、思いのほか進まなかったという経験はありますか？ 妊娠期からの身体づくりによって、分娩遅延を予防する取り組みをまとめました。分娩第2期が遅延する要因と助産師に求められる対応についても解説します。



2018年12月号

特集
習慣化されたケアをエビデンスから検証する
「エビデンスに基づくケア」の大切さが謳われ始め、日頃のケアを見直すことが常識となっています。そこで「臨床の助産師のケアにどう役立てるか」を念頭に置き、普段行われている15のケアについて、科学的根拠の確実性を検証します。



2018年11月号

特集
乳腺炎の重症化予防
診療報酬点数化の意義と、助産師による乳房ケア

2018年度の診療報酬改定において、「乳腺炎重症化予防ケア・指導料」が新設されました。点数化の意義や、施設および地域での実践、乳腺外科医の役割などを解説します。



2018年10月号

特集
病棟助産師よ、地域へ出よう！
妊娠中から産後まで、継続して母子を支える入院中にかかった助産師が母子を訪問することによって、母親の不安を大きく軽減でき、そして同時に、家庭での様子から教えられることもたくさんあります。病棟の助産師が地域へ出ることの効果と実践を紹介します。

2018年 特集

- 9月号 早産と助産師のケア
- 8月号 「院内助産ガイドライン2018」院内助産の拡大を目指して
- 7月号 ①助産師出向システムの今／②助産師が寄り添う更年期
- 6月号 助産師が行なう産後ケア 自立を支援する視点から
- 5月号 暴力被害から女性を救う 助産師が担う大きな役割
- 4月号 産科混合病棟の中で助産師にできること
- 3月号 10年目を迎えた産科医療補償制度と助産師